

# 10月

No.138

お父さん・お母さん・生徒さんへ・・・

## 山本学習塾からのお知らせ

R5年10月25日

今年も残すところ3ヶ月となりました。中学生は2学期中間テスト直前ですね。夏休みや運動会が続いて、授業があまりなかった分、これまでの実力が試される難しいテストが予想されます。時間を作って苦手なところを繰り返し勉強しましょう。スポーツでも上達するためには練習をするように、毎日の反復練習をしなければ勉強も身につけません。努力は必ず結果に出ます。今、楽なほうに逃げるのは、苦勞を後回しにしているだけですよ。

### ☆10月の予定☆

10/2(月)~3(火) 中間テスト  
10/10(火)~16(月) 塾内テスト  
10/9(月): スポーツの日: 休塾  
10月下旬: 期末テスト対策

### 中間テストを全力で

10月は、期末テストのために一気に学校の授業が進むと思われます。秋の気候に気持ちものんびりしがちになりますが、ぼんやりしていると置いていかれてしまいますよ。秋の夜長を勉強に使って、実力をモリモリ蓄えていこう。

### ★今村先生のつぶやき★

今月は海外のことわざをご紹介します。生活の知恵として何かを伝えるときに、それを聞くひとが理解しやすいような例えを用いて伝えてものがことわざです。外国のことわざを見ると、日本と同じような意味でも、日本と違う文化や考え方が、ことわざにも表れているようで面白いですよ。

○The pot calling the kettle black: 鍋がやかんを黒いと言う

鍋もやかんも同じように黒く焦げているのに、一方が他方を「黒い」と非難している様子から、自分のことを棚上げて、他人を批判したり笑ったりすることを意味します。

○A leopard never changes its spots: ヒョウは自分の斑点を変えられない

ヒョウが自分の生まれ持った模様を変えることができないように、人は生まれ持った性格や本質を変えることはできないという意味。主に「夜更かしをしてしまう」「面倒くさがり」などのよくない性質について使います。

○The apple doesn't fall far from the tree: りんごは木の遠くに落ちない

りんご(=子供)が木(=親)から離れたところに落ちないように、子供は見た目や性格、振る舞いなどが親に似るものだという意味のことわざです。

○A bird in the hand is worth two in the bush: 手中の一羽は藪の中の二羽の価値がある

捕まえられるかわからない2羽の鳥は、すでに持っている1羽の鳥と同じ価値があるということから、確実ではないが、大きな可能性よりも、少しでも今確実に持っているものの方が価値があるという意味になります。

○Don't count your chickens before they hatch: 卵が孵る前にヒナを数えるな

卵が孵る前にヒナを数えるように、物事が実際に起こっていないうちに不確実なことをあてにして事前に計画を立ててはならない、という意味のことわざになります。

○If you want to go quickly, go alone. If you want to go far, go together: 早く行きたいなら一人で行け 遠くへ行かないならみんなで行け

一人でやれば仕事は効率よく進められるかもしれないが、長い目で見た成功を手にしたければ、みんなで協力して行うことが不可欠だ、という意味で使います。